

鷺宮高校 社会科FW・活動通信 Vol.11(2024. 7 月)

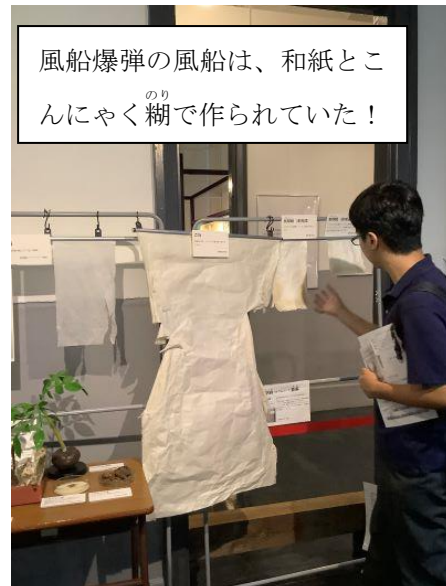
社会科同好会編② 明治大学平和教育 登戸研究所資料館見学

7月13日(土)午前、2学年生徒6名(うち同好会員は4名)、1学年生徒1名＋社会科教員3名で、「明治大学平和教育 登戸研究所資料館」を訪問しました。この資料館は明治大学の生田キャンパス構内にあり、当時の建物が利用されています。パンフレットには、「登戸研究所は、戦前に旧日本陸軍によって開設された研究所です。ここでは防諜(スパイ活動防止)・諜報(スパイ活動)・謀略(破壊・かく乱・暗殺)・宣伝(人心の誘導)のためのさまざまな秘密戦兵器が開発されました。」「…私たちはこうした戦争の暗部ともいえる部分を直視し、戦争の本質や戦前の日本軍がおこなってきた諸活動の一端を、冷静に後世に語り継いでいく必要があります。」と書かれています。

5月の明治大学博物館見学(駿河台キャンパス)に続く、大学の資料館を見に行こう②にあたりますが、「日本の戦争加害」について考えられる、貴重な施設を明治大学がきちんと保存し資料館として運営されていることがすばらしい！と思いました。案内ガイドの方の説明は丁寧で分かりやすく、2023 年から導入された新作アニメーション(見学前・後に視聴)が、当時の研究所員たちが経験した「秘密戦」(防諜・諜報・謀略・宣伝)の特殊さを考えさせる内容でこれまたよく、全員無料でもらえる「ガイドブック」もくわしく…しかも全てが無料。ぜひ構内の遺構とともに見学を！と思います。



風船爆弾の 10 分の 1 サイズ模型



風船爆弾の風船は、和紙と
こんにゃく糊^{のり}で作られていた！

電波兵器開発に適した丘の上に、登戸研究所は作られました。
生田キャンパスは坂道を上るところからスタートします…！

以下、生徒の感想を紹介します。

◆見学して暗室の仕組みや偽札の発行、人体実験を当たり前のように行ってしまう精神になってしまったことをさらに深く知れて当時の戦争遂行の国民の勢い、気持ちを知ることができました。また模型の風船爆弾を見てアメリカの原爆と比べ最終兵器の格差を感じ、もうダメだったんだと思いました。そしてもし自分が秘密戦の準備をしている時代に生き作業をしていたとしたら、家族に絶対しゃべってしまうかと思っていたけど、今回の見学を通して話したくても話せない、自分でストップをかけてるような気持ちに自然となってしまうんだろうなと感じました。戦争の恐ろしさや秘密戦の状況を知ることができてよかったです。

